

# 磯辺地区 区民対話会

- ◆日時:平成26年11月2日(日)  
午前10時00分～11時30分
- ◆場所:磯辺地域ルーム

1

**【テーマ】**  
**地域の将来像と担い手**  
～持続可能な地域コミュニティの構築～

2

## 地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、  
地域の住民や団体どうしのつながりや  
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、  
みんなの力で自主的によくしていく

3

## 地域コミュニティの必要性

### 環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、  
防災防犯  
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災  
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの  
再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも  
高まっている

4

## 地域コミュニティの現状

### 身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題  
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待…

### 地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

**地域コミュニティの力が弱まっている**  
地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

5

## 地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

### 考えられる理由

- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化
- …

6

## このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



**地域コミュニティの継続が困難**

今はよくても将来はない...

7

## 地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

8

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

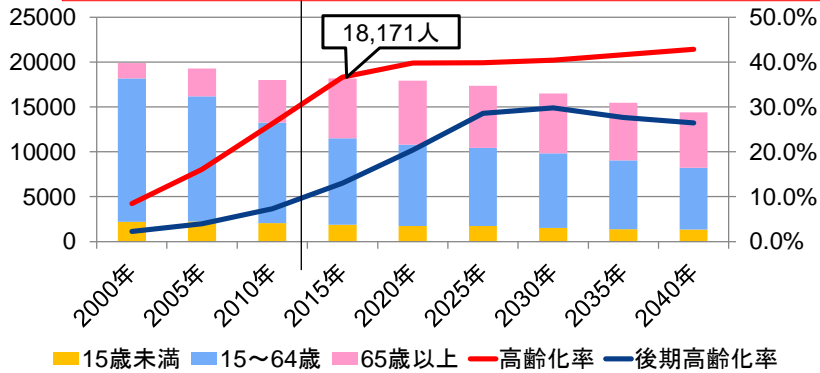
9

## 磯辺地区の現状

10

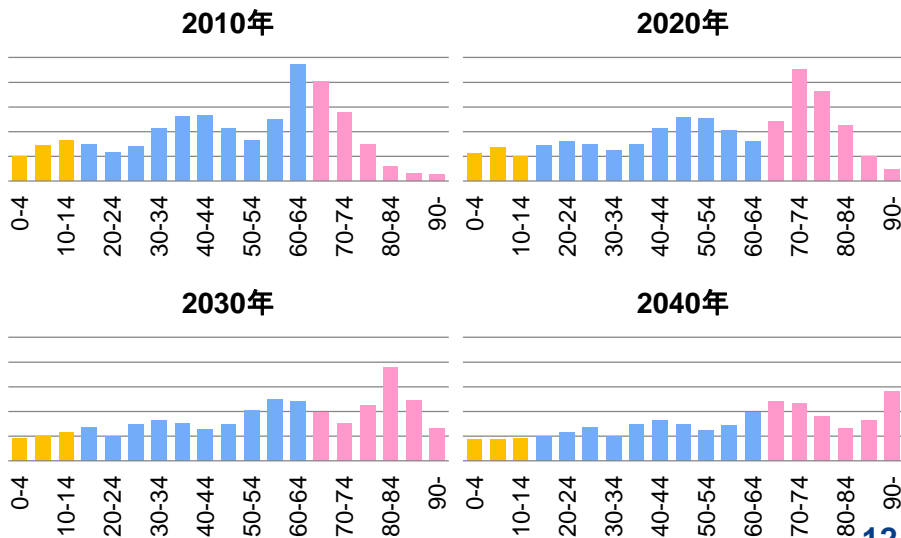
## 将来推計人口・年齢別人口構成

- 地区の人口は、2015年の18,000人強から一貫して減少
- 高齢化率は、2010年の16.1%から2020年には約40%に
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は2030年に約30%となり、その後やや減少



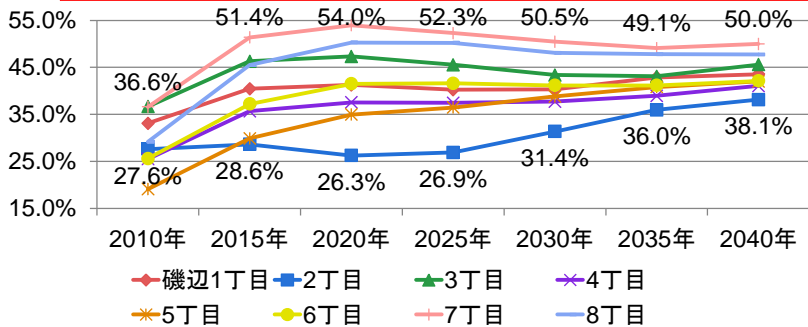
出典：2000年、2005年、2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

## 年齢別人口構成の将来予測



## 高齢化率の将来予測

- 年齢構成の違いにより町丁ごとに傾向が異なる
- 7・8丁目は、2010年時点の60～64歳の割合が著しく高いため、2015年に高齢化率が急増
- 対して、年齢層の偏りが小さい2丁目は緩やかに増加

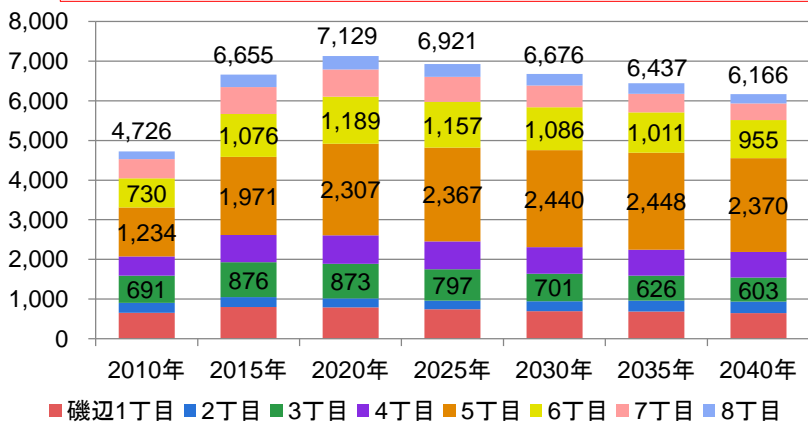


出典: 2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

13

## 高齢者数の将来予測

- 2020年まで高齢者数は増加、ピーク時は7,000人超



出典: 2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

14

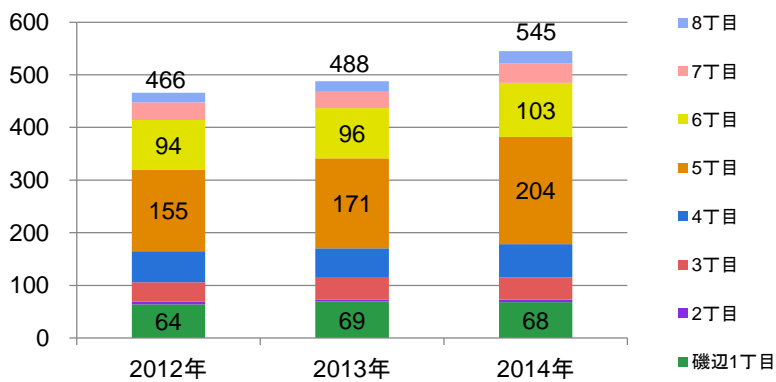
## 年齢構成比較 2丁目と7丁目



出典:2010年国勢調査

## 一人暮らし高齢者の数

■ 一人暮らし高齢者の数は増加傾向

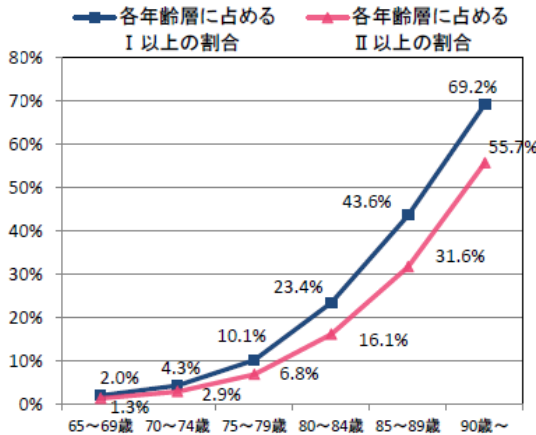


出典:2012~2014年度高齢者実態調査(千葉市高齢福祉課)  
町丁別年齢別人口(千葉市統計課)



# 認知症高齢者の増加

## ■年齢が上がると、認知症の割合が急増



I、IIは認知症高齢者の日常生活自立度

I：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

II：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

出典：2013年11月 要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査(東京都)

## ■認知症高齢者の割合は増加を続ける

全国の「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数は2010年で280万人、高齢者の9.5%。

2025年には470万人、高齢者の12.8%となる見込み。

### 2. 将来推計

(単位:万人)

将来推計(年)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 II以上	280 9.5%	345 10.2%	410 11.3%	470 12.8%

※平成24年(2012)を推計すると、305万人となる。

※下段は65歳以上人口に対する比率

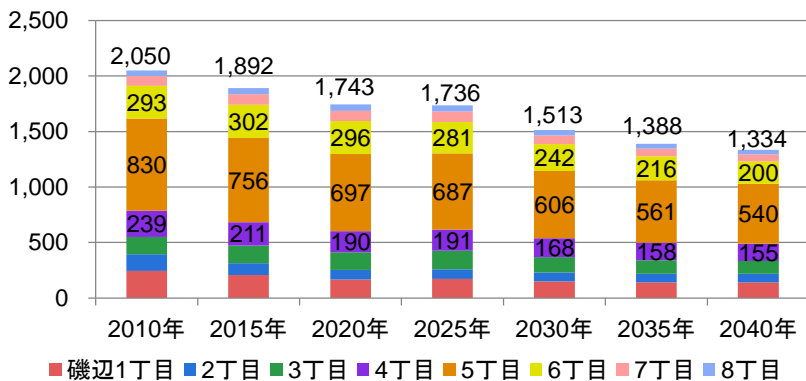
#### 【算出方法】

○将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所:H24.1推計。死亡中位出生中位)に、上記1の算出方法による平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乘じて推計した。

出典:「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数について  
(厚生労働省)

## 子供の数の将来予測

- 子供の数は一貫して減少
- 2010年から2040年にかけて地区の子供数は約2/3に

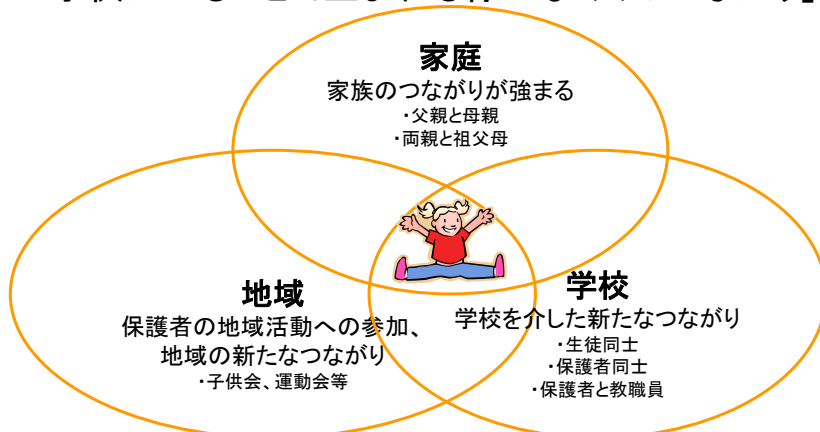


出典: 2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

19

## 少子化が地域に及ぼす影響

子供がいることで生まれる様々な「人のつながり」



子供の減少＝つながりの減少

(地域コミュニティの弱体化)

20

## 土地利用

- 駅付近の5・6丁目はほぼ全て共同住宅
- その他の地域は戸建エリアが大半を占める
- 事業所等は学校・病院・終末処理場 等

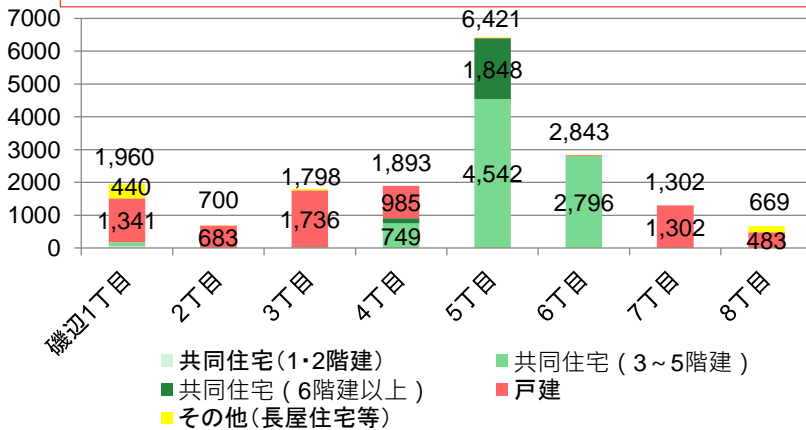


出典：  
住宅地図をもとに  
美浜区地域振興課作成

21

## 住宅形態別人口

- 地区の人口に占める割合は、共同住宅が6割弱、戸建が4割弱
- 3～5階建の共同住宅人口が最も多い(人口の5割弱)
- 5・6丁目を除く町丁では戸建が過半

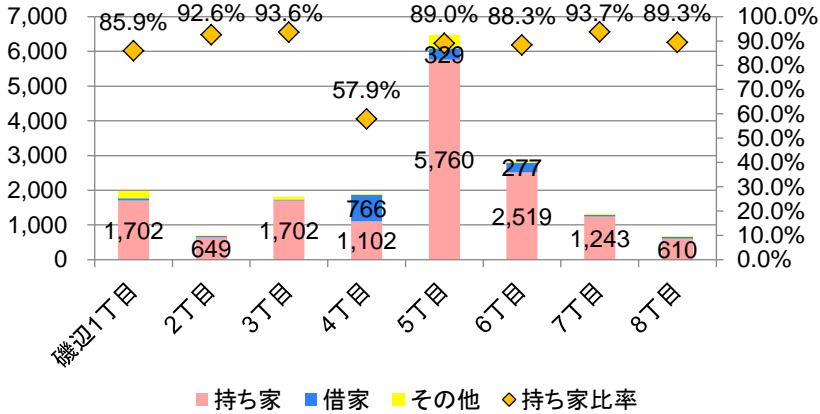


出典:2010年国勢調査 住宅の建て方別主世帯人員

22

## 住宅所有別人口

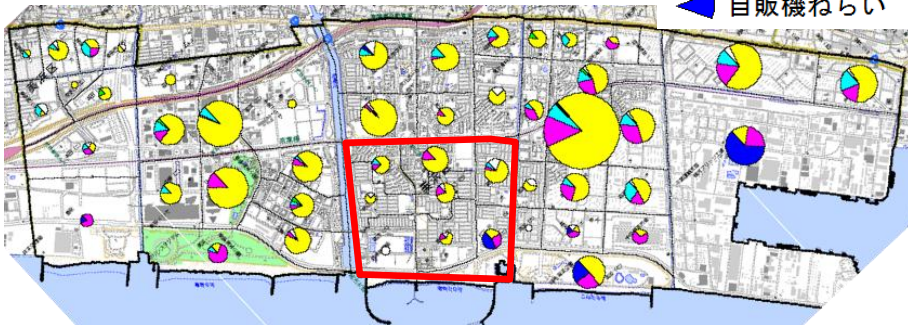
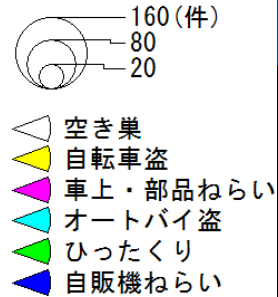
- 持ち家比率は、4丁目を除き90%前後と高い
- 4丁目は、県営住宅(330戸)があるため持ち家比率は低め



出典:2010年国勢調査 住宅に住む一般世帯人員

## 街頭犯罪発生状況

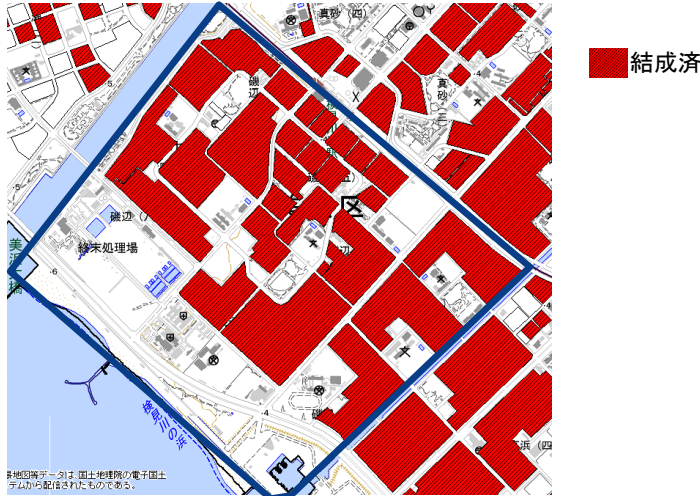
- 磯辺地区では平成25年に83件の重点街頭犯罪が発生しているが、他地区より少ない
- 自転車盗が多く、約66%を占める
- 戸建の多い町丁では空き巣が発生している(1丁目:3件、8丁目:2件、3・4・7丁目:各1件)



出典:平成25年町丁別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

## 自治会結成状況

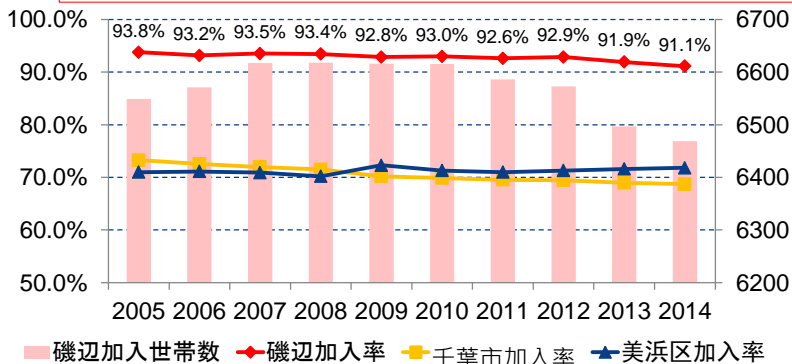
- 一部の共同住宅等を除き、住宅のある地域のほぼ全てで自治会が結成されている



25

## 自治会加入率

- 市・美浜区平均が70%程度であるのに対し、磯辺地区では常に90%超と非常に高い数値
- しかし、2010年以降、加入率・世帯数ともに減少傾向  
要因は、自治会の解散1件と、各自治会での加入世帯数の微減

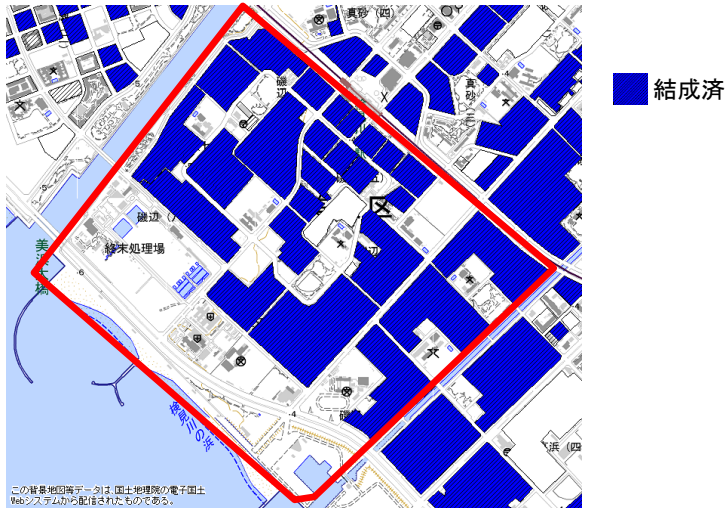


出典：2005～2014年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)  
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

26

## 自主防災組織結成状況

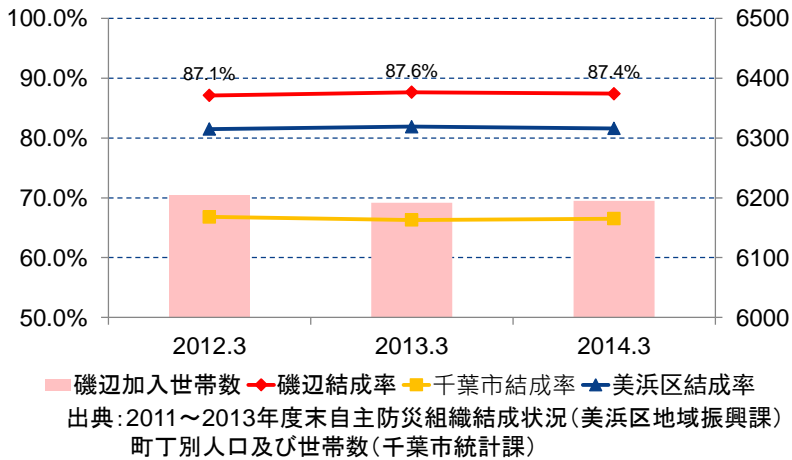
■ 自治会のあるほぼ全ての地域で自主防災組織が結成されている



27

## 自主防災組織結成率

■ 市平均が60%台であるのに対し、磯辺地区では87.4%と高い数値となっている



28

## 地域団体役員数

※美浜区が役員を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	27	17
青少年育成委員会	108	34
スポーツ振興会	20	12
民生委員児童委員協議会	21	12
社会福祉協議会地区部会	45	12

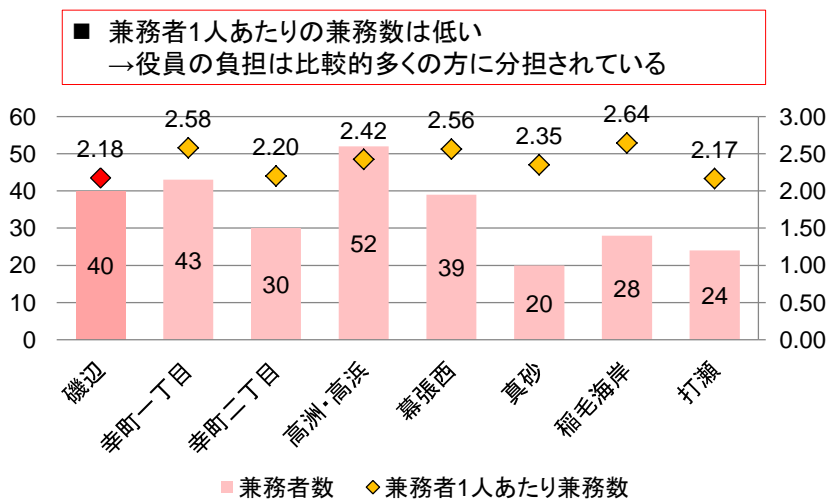
### 兼務状況

- ・兼務者数 40人
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.18
- ・最大兼務数 4(1人)

出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

29

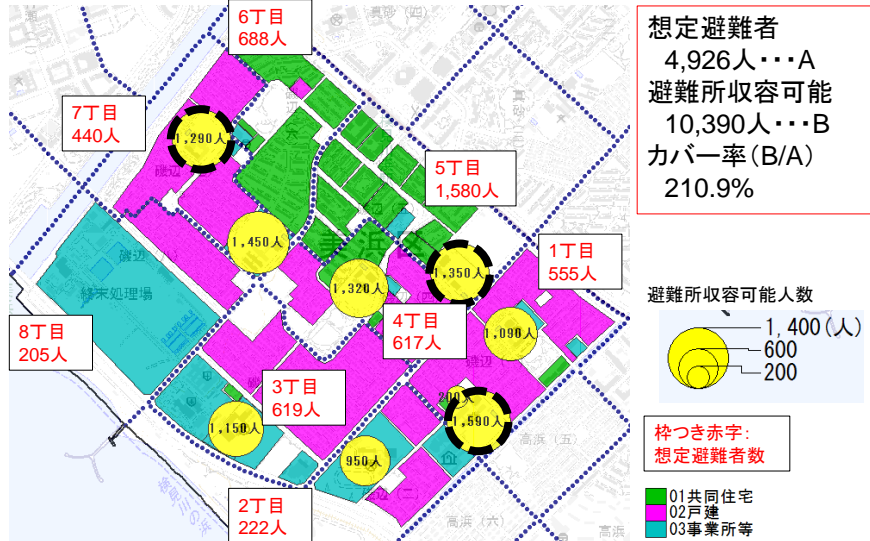
## 地区別 地域団体役員兼務状況比較



出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

30

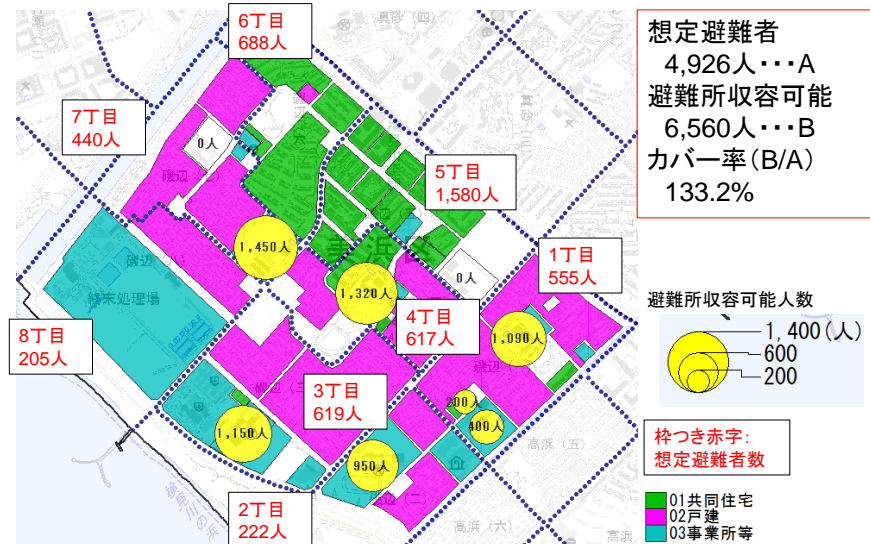
## 想定避難者数と避難所(現行)



出典:平成26年10月1日現在 避難所収容可能人数(危機管理課)  
千葉市地震ハザードマップ作成業務委託報告書 巻末資料7(平成20年12月)

31

## 想定避難者数と避難所(校舎等除却後)



出典:校舎等除却後 避難所収容可能人数(危機管理課)  
千葉市地震ハザードマップ作成業務委託報告書 巻末資料7(平成20年12月)

32



## 地区の課題

### ■進行する高齢化への対応

- ・ 一人暮らし高齢者の見守り
- ・ 認知症高齢者の地域での受け入れ
- ・ 高齢者の地域でのつながり など

### ■高齢化が進む中での地域団体 (自治会、社協等) 役員の担い手確保

例えば...

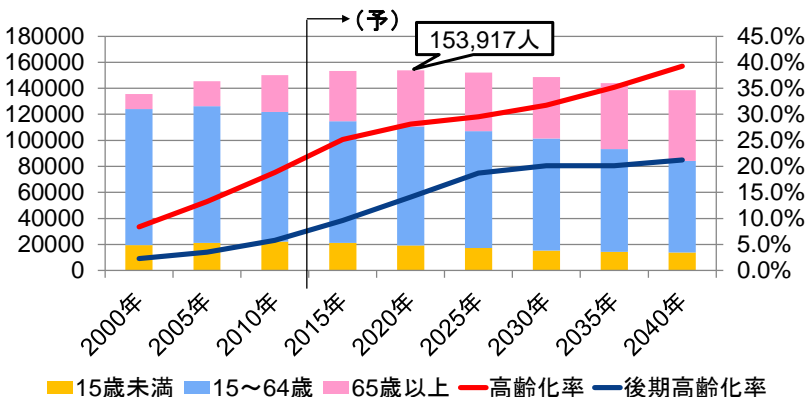
高齢のため役員を担うことができない方の増加  
「役員が回ってきたら自治会を退会する」

33

【参考】

## 美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

- 区の人口は2020年の約154,000人をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%に



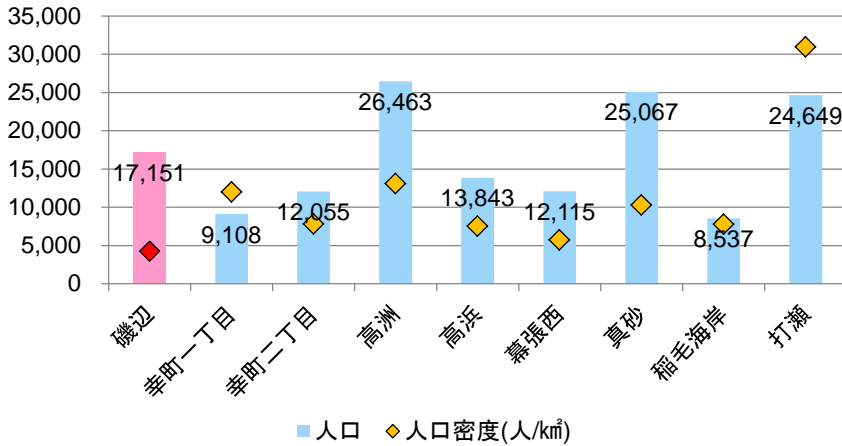
出典:2000年、2005年、2010年国勢調査  
将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

34

【参考】

## 地区別 人口・人口密度

■ 9地区中、人口は中程度だが、人口密度は最も低い



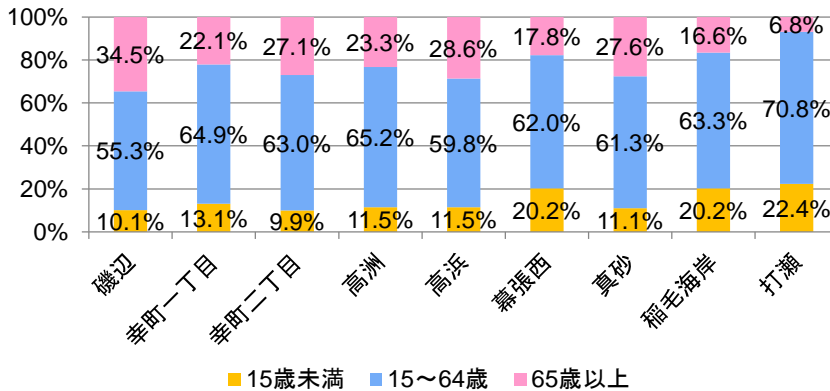
出典：2014年6月末町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

35

【参考】

## 地区別 年齢別人口構成比

■ 9地区中、高齢者の構成比は最も高い  
■ 生産年齢人口(15~64歳)の構成比は最も低く、子供の構成比も2番目に低い



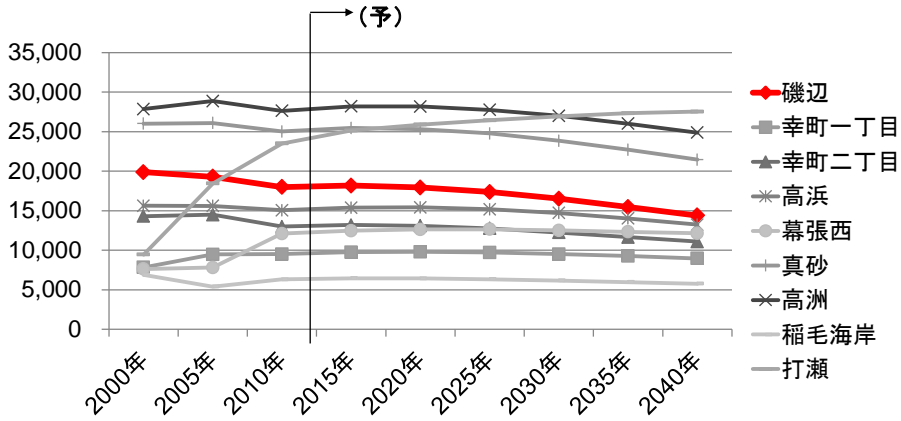
出典：2014年6月末町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

36

【参考】

## 地区別 将来推計人口

■ 地区人口は減少傾向、減少速度は時間とともに増加



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)